

北摂トレイル踏査山行 第9回目 (10/11 行程)

波豆 ～ 大岩ヶ岳 ～ 武田尾

2020 年6月27 日

<参加メンバー> 16 人(男性 11 人、女性 5 人) 内、一般参加 2 人

<天 候> 晴れ

< コースタイム >

阪急宝塚駅前バス停阪急田園バス 8:30 発
— 9:25 波豆停 (トイレ、ストレッチ他) 9:50 —
10:00 登山道取付き — 10:30 キリン広場 —
12:17 左岸道と大岩ヶ岳の分岐 —
12:25 ピーク手前の小さい広場 (ランチタイム)
12:45 — 13:09 大岩ヶ岳頂上 13:32 —
13:50 丸山湿原入口 — (丸山湿原散策コース) —
15:10 川下川ダム — 15:31 武庫川左岸道出合 —
16:00 岩場(難所) — 16:55JR 武田尾駅

< 山行の概要 >

総勢 16 人の大パーティーとなったため、前回同様、新型コロナウイルス感染症の予防を考慮して、3 パーティーに分けてフィジカルディスタンスを確保しながら行動した。歩き始めは千苺貯水池左岸の良く整備された水平道で楽に歩けたが、キリン広場から先は道は不明瞭で荒れており、倒木も多かった。大岩ヶ岳近くになると道は明瞭となり、登山者と出会うようになった。下山は丸山湿原経由川下川ダムに至るルートをとった。丸山湿原では希少な植物やハッチョウトンボにも出会え、参加メンバーは喜んでた。

武田尾までの武庫川左岸道は度重なる近年の洪水時の大増水で荒れており、今回一番の難所となった。しかし、なんとかクリアーして今回予定したルートは踏破できたが、予定時間を随分オーバーして一寸ハードな山行となった。

実行動時間：7 時間 0 5 分 歩行距離：約 14 Km



1. 波豆バス停に到着



2. バス停横の広場でトイレタイム。自己紹介、ストレッチなどを行う



3. 千苺貯水池北岸の車道を清之瀬橋方向に進む



4. 千苺貯水池左岸道へ至る取付きは、舗装道路の突き当たりにあるフェンスの左側を巻く。巻いたところに大岩ヶ岳への登山道がある



5. 暫くは貯水池にそった水平道で楽に歩ける



6. 登山道は良く整備されており、誰が行っているのか、階段も木材を使ったしっかりしたものだった



7. キリン広場なるところに到着 ここから東へ進むと酪農センター(西谷の牧場)へ至る



8. キリン広場から先は荒れており、道も一部不明瞭



9. 数年前の台風か、倒木ジャングルのようなところもある ここをかいぐり進む



10. 道が明瞭となって進んで行ったところに大岩ヶ岳への分岐があった



11. ピーク手前の小さい広場でランチタイムとした



12. この先が大岩ヶ岳のピーク



13. 大岩ヶ岳頂上に到着 三角点 384.3mがある



14. 全員集合



15. 北方向に前の探査山行で登った羽束山が見えている



16. 頂上から激下りして、丸山湿原をめざす



17. 登山道脇に手でつくるとてっぺんから噴煙のように胞子を飛ばすホコリタケがあった



18. 丸山湿原の入口に到着



19. 緩やかな散策道を進む



20. 写真では不明瞭だがノハナショウブ(ハナショウブの野生種)が数輪咲いていた



21. はげ山なる解説板が・・・ハゲの人間には、はげの文字が気になる



22. 湿原の木道を進む



23. 湿原の希少な植物などの解説板



24. 小さな黄色いものがカキランの花(日本の野生ラン)



25. どこにいるか一寸分かりづらいが、日本一小さな赤いハッチョウトンボがいた



26. 川下川ダムめざして下っていく



27. 途中、一寸スリリングな痩せた岩稜を激下る



28. 湿って滑りそうな急斜面をトラバースする



29. 数回、沢を徒渉する



30. 川下川ダムに至る車道に出た



31. 川下川ダムに到着し、しばし休憩



32. 車道を下り、武庫川左岸道出合に到着し、鋭角に方向を変えて進む



33. 武庫川の川原に出た



28. 左岸道のややこしい道を進む
後方は JR 福知山線と橋脚は新名神高速道路



29. 今回の難所と目していた岩場に到着



30. 岩場にはフィックスロープと鉄の番線が張ってあり、あまり難しくはない



31. 岩場を過ぎるとまた不明瞭な道となり、藪をこぐ



32. 予定より大分時間が過ぎた頃、ようやく武田尾駅へと続く車道に出る



33. このトンネルを抜けて少し行くと武田尾駅がある。
思ったより随分時間がかかってしまったが、今回の踏査山行は無事終了した

